

P 5 0 例題 3

「例題 3 を読んで下さい」 「トライアスロンというスポーツの小型です。」

- ・ 全長 5 0 k m ここからだ鳴門よりまだ遠いところまでです。長いね。
- ・ 自転車 時速 2 0 k m これは標準的な速さです。
- ・ 走る速さ 時速 1 0 k m 自転車の半分の速さです。これも普通でしょう。

さて、この問題をする前に、速さの計算を確認しましょう。誰かを例として使わせてください。

() は家から学校まで () k m です。 家から [] k m の地点までは自転車で進み、 残り [] k m は自転車をおりて走りました。 自転車は時速 () k m で、おりてからは 時速 () k m で走りました。 かかった時間は【 】時間です。	自転車 2 0 ~ 4 0 走る 1 0 ~ 3 0
--	-------------------------------

(生徒の誰かを例として使わせてもらう。文章を完成する。ワークシート配布)

かかった時間は【 】時間 をみんなで話し合いながら求める。

きの下のじいさんばあさん

もう一回やりましょう。

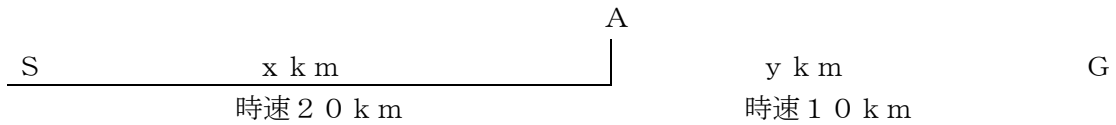
() は家から学校まで () k m です。 家から [] k m の地点までは自転車で進み、 残り [] k m は自転車をおりて走りました。 自転車は時速 () k m で、おりてからは 時速 () k m で走りました。 かかった時間は【 】時間です。	自転車 2 0 ~ 4 0 走る 1 0 ~ 3 0
--	-------------------------------

(生徒の誰かを例として使わせてもらう。文章を完成する。ワークシート使用)

かかった時間は【 】時間 をみんなで話し合いながら求める。

きの下のじいさんばあさん

あらためて 例題3を解きましょう。



確認しましょう。(線分図を書きながら・・・)

はじめの自転車の速さは? 時速 20 km

Aからの走った速さは? 時速 10 km

さて、中学校では

スタートからAまでの距離をなんと表す?、Aからゴールまでの距離をなんと表す?

x km

y km

式に表しましょう。

全長 50 km です。 $x + y = 50$ ①

全体で 3 時間 です。 $\frac{x}{20} + \frac{y}{10} = 3$ ②

方程式の合い言葉は「じゃまものはけせ」まず②の分数がじゃまです。

②の両辺を何倍しましょうか? 20倍 $x + 2y = 60$
-) $x + y = 50$
 $y = 10$

$$x + 10 = 50$$

$$x = 40$$

S ~ A 40 km

A ~ G 10 km

問4 「問4を読んで下さい」「やってみましょう」

$$\begin{cases} x + y = 92 \\ \frac{x}{40} + \frac{y}{50} = 2 \end{cases}$$

$$5x + 4y = 400$$

$$4x + 4y = 368$$

$$x = 32$$

$$y = 60$$

AB . . . 32 km

BC . . . 60 km